

DB01638

2000

EG

近代日本農村における農民の教育と学習
—農事改良と農事講習会を通して—

手打明敏

寄	贈
手 打 明 敏 氏	平 成 年 月 日

01003496

凡 例

- 一、 本文と註とにおいて、現存者を含めて、氏名はすべて敬称を省略した。
- 一、 引用資料中の漢字は、該当する常用漢字がある場合には、それを用い、異体字は現行の字体に改めた。また、カタカナはひらがなに直し、現代かなづかいに改め、適時句読点を補った。当て字と思われるところには〔 〕に正字を補った。虫損等で読めない箇所は□で示し、その字数を（○字不明）と表記した。疑義のある箇所には、（ママ）と傍注した。引用資料の一部を略した場合には、（中略）または（以下略）と表記した。
- 一、 引用文献中、図書は刊行年、雑誌は巻号、刊行年月を元号で表示し、（ ）に西暦年を補った。ただし、元号を（ ）に表記する場合には西暦年は補わなかった。

目 次

序章 本研究の課題と方法	1
第1節 問題の所在	2
第2節 先行研究の検討	3
第3節 研究課題と方法	16
第4節 本論文の構成	24
第1部 近代日本の農事改良と農民の取り組み	30
第1章 明治前期の稲作改良農法受容過程における農民の教育と学習	31
― 『大日本農会報』の記事を通して―	
第1節 遠里農法と学理農法	32
第2節 2つの農法の受容にみる農民の取り組み	35
第2章 福岡農法導入過程にみる農民の教育と学習― 山形県庄内地方の場合―	50
第1節 庄内地方における農事改良の課題	51
第2節 農事改良と農民の教育・学習活動―2人の農民の事例―	55
第3節 農事改良を担った農民層とその役割	60
第3章 明治後期、「東北型」農村における農事改良と農民の教育と学習	67
― 『庄内農事改良史』の考察―	
第1節 『庄内農事改良史』の編輯意図と収録された農民	68
第2節 農事改良の課題に対する農民の取り組み	73
第4章 明治後期・大正期における「西南型」農村における農事改良と 農民の教育と学習 ―愛媛県温泉郡余土村を事例として―	80
第1節 明治期の余土村の農事改良	81
第2節 大正中期以降の農事改良の動向	92
第3節 余土村民にとっての農事改良の意味	95

第2部	農事講習会の展開と農民の教育と学習	101
第5章	農事講習会の性格	102
第1節	農業・農民教育体制の形成	103
第2節	農業教育に占める農事講習会の位置	105
第3節	対象の限定と農事講習会受講者数の推移	110
第4節	農会報にみる農事講習会開設状況	112
第5節	農事講習会の性格	124
第6章	農事講習会の教育と農民への期待	132
	一農事講習会講義録・教科書・筆記の分析を通して一	
第1節	農事講習会講義録・教科書・筆記の特徴	133
第2節	農事講習会講義録・教科書・筆記の刊行目的	137
第3節	農事講習会の教育	141
第4節	農事講習会講師の姿勢	151
第7章	農事改良団体の組織化一山形県庄内地方を事例として一	156
第1節	庄内3郡における農事改良団体の設立	157
第2節	西田川郡興農会の組織と会員	159
第3節	興農会に参加した農民の教育と学習	164
第8章	農事講習会と農事改良団体	174
	一愛媛県を事例として一	
第1節	農事改良団体の組織化	175
第2節	余土村青年農事実習会と農事講習会	179
第9章	近代日本の農事改良における農民の教育と学習の関連	187
	一山形県西田川郡と愛媛県温泉郡余土村の事例を通して一	
第1節	明治中・後期から大正期の稲作と農事講習会	188
第2節	農事改良指導者としての農民の形成	194

終章 本論文のまとめと今後の課題	201
第1節 本論文のまとめ	202
第2節 今後の課題	208
資料	210
資料Ⅰ 農事講習会開設状況	211
資料Ⅱ 農事講習会教科書等の目次構成	233
資料Ⅲ 参考文献・資料一覧	240